

檜葉町の放射線健康管理に対する  
取組みについて

平成27年6月22日  
檜 葉 町



## 檜葉町における放射線健康管理に関する取組み

原発事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、町民の健康状態、健康影響を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげるとともに放射線に対する健康不安が及ぼす心身への影響を防ぎ、将来にわたる町民の健康保持、増進を図る。

事業	事業内容等
放射線線量計の貸出	○空間線量を測るために、個人線量計を世帯ごとに貸出 ○個人の外部被ばく線量を把握するため、積算線量計(Dシャトル)で測定。結果について説明会を開催 ○シンチレーション式サーベイメーター、GM管を短期貸出
ホールボディカウンタ検査	実施場所:常磐病院(いわき市)、ひらた中央病院((平田村)(生後7か月児～4歳以下検査可能) メディカルセンター(檜葉町) * 県の車両バスを活用
甲状腺検査	県が、県民健康調査事業として実施しているが、2年に1回のため、不安な人に対しては、年1回、無料で受けられるよう、ひらた中央病院と協定を締結している
放射線に関する個別相談	月1回、乳幼児相談会(双葉8か町村で共同実施)や総合健診時(よろず相談)において、放射線に対する健康について相談している
放射線に関する講演会・座談会	町民を対象に、放射線に関する正確な情報の提供や知識の普及を図るため開催している
健康管理システムによる健康情報の管理	町民の健康診査結果、予防接種の接種状況、また、県と連携し、県民健康調査(住民の基本調査、甲状腺検査、ホールボディカウンタ検査、健康診査)の個人データを入力管理している
広報による情報発信	毎月発行される「広報ならは」に次の情報発信している。 ・下水道施設のモニタリング検査結果 ・除染廃棄物仮置場の管理状況 ・自家消費食品等の放射能簡易検査結果 ・水道水に中における放射性物質のモニタリング結果 ・檜葉町公共施設等のモニタリング調査実施結果
生活再建にむけての相談体制の整備	町民のより身近で対応している仮設住宅連絡員や生活支援相談員が町民の一人一人の話を傾聴及び相談。また、より専門的な機関や人に繋し、よりきめ細やかな相談、支援を行う
自家消費食品等の放射能簡易検査	○町民から持ち込まれた水や食品、土壌を月曜日から金曜日まで検査。(檜葉町公民館に職員2名を配置し測定) 検査データ結果を基に、摂取に関する注意喚起を町広報誌で実施 ○学校給食の測定

事業	事業内容等
放射線環境モニタリング調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○下水道施設のモニタリング調査 下水道施設へ流出する汚水や処理後の放流水、処理に伴い発生する脱水汚泥や施設付近の河川水について、月1回検査</li> <li>○水道水中における放射性物質のモニタリング調査（双葉地方水道企業団） <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射性物質が管理目標値を超える場合は、取水を停止する</li> <li>・小山浄水場や北林排水池における検査を毎日実施</li> <li>・小山浄水場に24時間放射性物質モニタリング機器を開発導入</li> </ul> </li> <li>○簡易水道の検査 町内4か所の簡易水道を週3回検査</li> <li>○櫛葉町公共施設等のモニタリング調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全地区集会所、学校・グラウンド、公共機関及び公共施設等114か所を地上1m、地上10cmの線量を毎月2日間測定</li> <li>・道路、森林、農地、宅地の測定</li> </ul> </li> <li>○空気中の放射性物質の測定</li> </ul>
除染廃棄物仮置場の管理	各設備、周辺状況、各種測定、環境整備状況を月1回及び週1回の割合で点検、管理している

## 今後の課題

### 1. 正確な情報の発信と情報共有

- ・正確な情報を必要とする人にわかりやすく伝える。
- ・データの持つ意味や推移を町民に発信し、共有する

#### 町民

帰還しようとしている人

帰還を迷っている人

当面、帰還を見合わせる人

帰還しない人

### 2. リスクコミュニケーション

- ・放射線に対する健康不安や疑問を明確化し、その内容に応じ対応をする。
- ・放射線に関して、適切な情報提供できる人材を育成するための研修を行う。

### 3. 継続的な健康管理体制の整備

- ・県民健康調査と連携し、継続的な健康管理体制の整備を図る
  - ・ホールボディカウンタや甲状腺検査等の実施
- ・震災後の心のケア

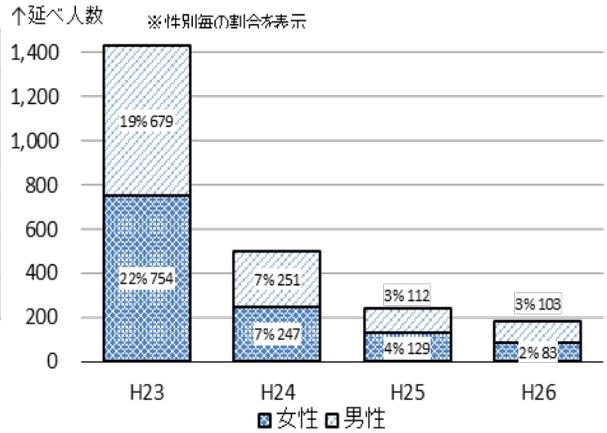
# 内部被ばく検査(WBC) の状況

データ抽出条件  
 ・H23～H25は県外、県内全て  
 ・H26はひらた、常盤、メディカルのデータのみ  
 ・データはH27.3.31まで受検した方を集計  
 ・H27.6.1時点で非住民の方は集計から除く

## ＜WBC受検者数 性別ごとの年度比較＞

	対象者数			受検者数					
	女性	男性	総計	女性	女性対象者数に対する割合	男性	男性対象者数に対する割合	総計	総計に対する割合
H23	4,098	3,913	8,011	754	22%	679	19%	1,433	18%
H24	3,927	3,747	7,674	247	7%	251	7%	498	6%
H25	3,912	3,709	7,621	129	4%	112	3%	241	3%
H26	3,851	3,647	7,498	83	2%	103	3%	186	2%

※割合は「受検者数／対象者数」  
 ※対象者数は各年度の4月1日時点のもの



## ＜WBC受検者数 年齢ごとの年度比較＞

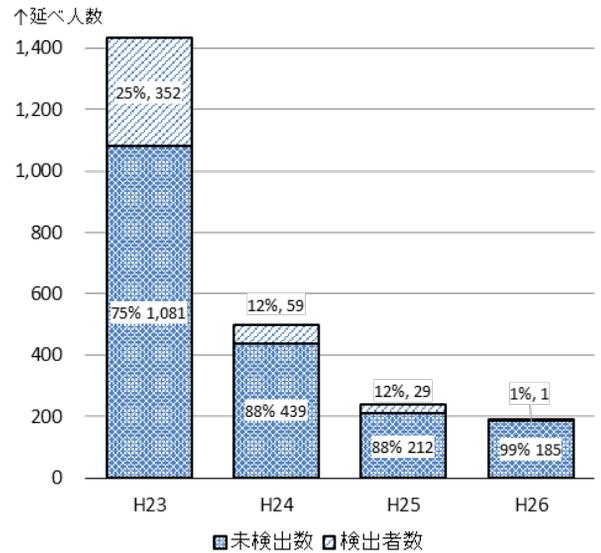
	年代											
	6歳以下	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
H23	131	361	191	186	56	155	177	89	69	16	2	0
H24	19	44	8	23	3	40	62	64	96	83	45	11
H25	4	1	3	5	0	21	23	29	57	50	43	5
H26	10	3	0	1	0	22	33	29	55	26	7	0

## ＜WBC受検者数 年度比較＞

(延べ人数)

	検出者数	検出(割合)	未検出数	未検出(割合)	受検者総計
H23	352	25%	1,081	75%	1,433
H24	59	12%	439	88%	498
H25	29	12%	212	88%	241
H26	1	1%	185	99%	186

※割合は「検出者or未検出者／受検者総数」  
 ※検出の有無はCs-134、Cs-137どちらか一方でも検出すれば検出とする



## ＜WBC検査結果で検出者の年齢、年度、性別内訳＞

(延べ人数)

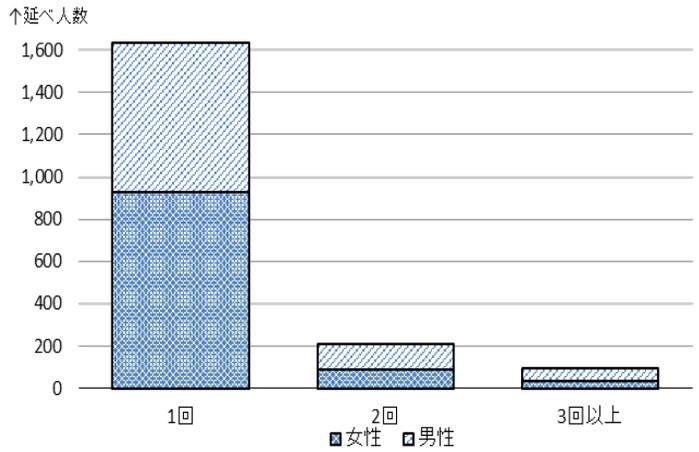
	性別	年代												計
		6歳以下	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
H23	男性	3	25	31	37	6	24	30	36	25	7	1	0	225
	女性	0	17	14	24	3	22	33	8	3	3	0	0	127
H24	男性	0	0	0	2	0	3	8	4	9	6	7	0	39
	女性	0	0	0	0	0	1	2	1	6	6	4	0	20
H25	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	4	1	14
	女性	0	0	0	0	0	0	0	1	5	4	5	0	15
H26	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

検出の有無はCs-134、Cs-137どちらか一方でも検出すれば検出とする

# 内部被ばく検査(WBC)の状況

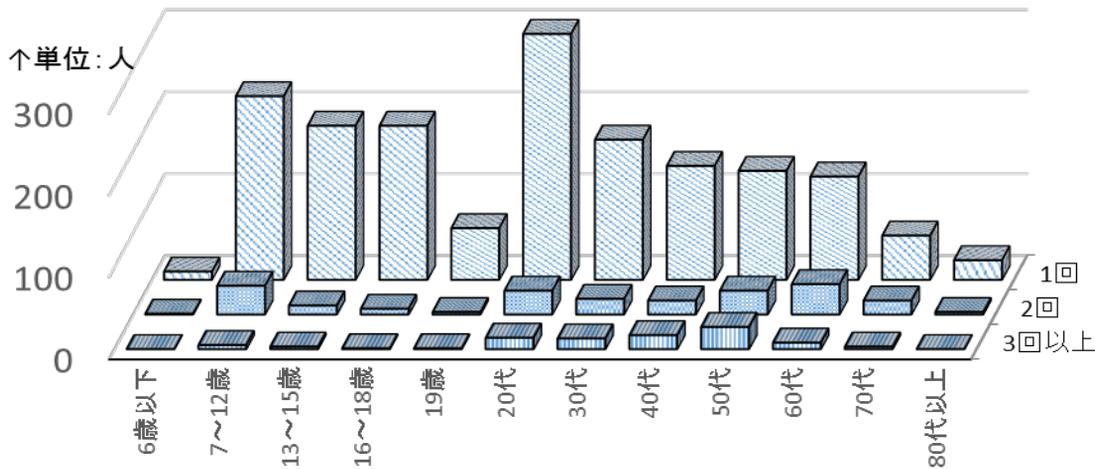
## <WBC受検者数の性別と受検回数比較>

	受診回数		
	1回	2回	3回以上
男性	708	119	58
女性	926	89	34
総計	1,634	208	92



## <WBC受検状況の年齢比較>

回数	年齢											
	6歳以下	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1回	10	224	188	188	63	314	171	139	133	126	54	24
2回	1	35	11	7	3	29	19	17	29	37	17	3
3回以上	0	5	3	1	1	14	13	17	27	8	3	0



## 結果

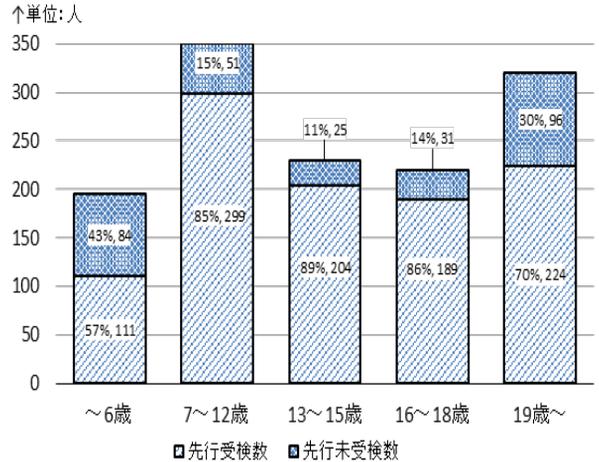
- H23年では、約18%が受検。女性の方がわずかに受検者数が多い。  
H24年になると6%に減少し、H25年は3%、H26年は2%と年々減少している。
- H23年では、50代以下の受検数が多いが、60代以上は少ない。H23年と比べ、H24年は30代以下の受検者は激減している。
- 放射線検出者は、H23年では25%、H24年は、12%と年々減少している。また、性別で見ると、女性より男性の検出数が多い。(受検者数の減少も影響)
- 1回のみの方が多数を占め、1回のみの方は女性が多く、2回以上は男性が多い。  
7~12歳、20代以上は、2回の受検者が多い。

# 甲状腺検査の状況

## 甲状腺受検状況の年齢比較 先行検査(H23年度～H25年度)

年齢層	対象者数	先行受検数	先行受検(割合)	先行未受検数	先行未受検(割合)
～6歳	195	111	56.9%	84	43.1%
7～12歳	350	299	85.4%	51	14.6%
13～15歳	229	204	89.1%	25	11.9%
16～18歳	220	189	85.9%	31	14.1%
19歳～	320	224	70.0%	96	30.0%
総計	1,314	1,027	78.2%	287	21.8%
避難区域13市町村	47,768	41,810	87.5%	5,958	12.5%
福島県全体	367,685	299,543	81.5%	71,433	18.5%

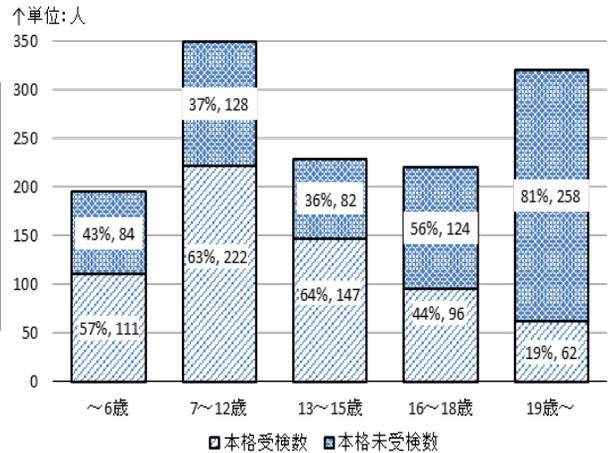
※対象者数はH27.4.1時点のH4.4.2～H24.4.1生まれの方  
 ※年齢はH27.4.1時の年齢で算出  
 ※割合は「受検者数 or 未受検者 / 対象者数」



## 甲状腺受検状況の年齢比較 本格検査(H26年度)

年齢層	対象者数	本格受検数	本格受検(割合)	本格未受検数	本格未受検(割合)
～6歳	195	111	57%	84	43%
7～12歳	350	222	63%	128	37%
13～15歳	229	147	64%	82	36%
16～18歳	220	96	44%	124	56%
19歳～	320	62	19%	258	81%
総計	1,314	638	48.6%	676	51.4%

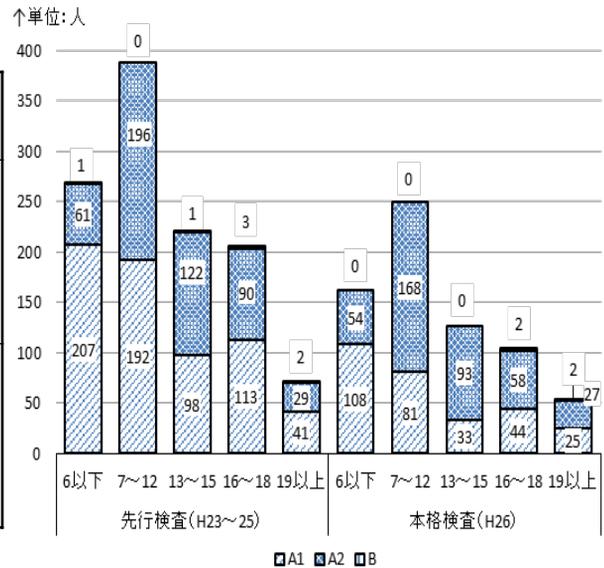
※年齢はH27.4.1時の年齢で算出  
 ※割合は「受検者数 or 未受検者 / 対象者数」  
 ※本格検査の受検者数はH26.10.31時点



## 甲状腺受検結果の年齢別と年度比較

年度	年齢層	検査結果				二次検査対象者	二次検査受診者	悪性ないし悪性疑い者
		A1	A2	B	総計			
先行検査 (H23～25)	6以下	207	61	1	269	1	6	0
	7～12歳	192	196	0	388	0		
	13～15歳	98	122	1	221	1		
	16～18歳	113	90	3	206	3		
	19以上	41	29	2	72	2		
総計	651	498	7	1156	7			
本格検査 (H26)	6以下	108	54	0	162	0	4	0
	7～12歳	81	168	0	249	0		
	13～15歳	33	93	0	126	0		
	16～18歳	44	58	2	104	2		
	19以上	25	27	2	54	2		
総計	291	400	4	695	4			

※年齢は検査時の年齢で算出  
 A1判定) 結節や胞を認めなかった場合  
 A2判定) 5.0mm以下の結節や20.0mm以下のう胞を認めた場合  
 B判定) 5.1mm以上の結節や20.1mm以上のう胞を認めた場合  
 B判定の場合は二次検査を実施している



## 結果

○先行調査では、6歳以下が56.9%、19歳以上が70%の受診率で、他年齢層と比較すると低い。7～18歳は受検者数が多く、受検率が高い。本格調査は、先行調査に比べ受診率が低い。特に19歳以上の受診率が低く、今後の課題である。

○本格検査は先行検査と比較して“A2”の結果者の出現率が高い。（本格検査はH26.4.1に開始してから半年間での進捗状況）

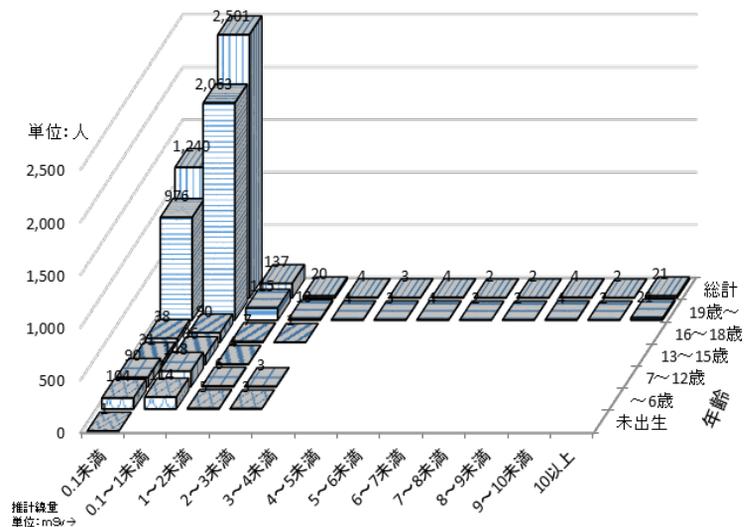
○現在のところ、悪性新生物は、発見されていない。

## 外部被ばく線量(基本調査)の状況

**基本調査 推計結果の年齢比較**

	0.1 未満	0.1～1 未満	1～2 未満	2～3 未満	3～4 未満	4～5 未満	5～6 未満	6～7 未満	7～8 未満	8～9 未満	9～10 未満	10 以上	計
～6歳	104	114	5	3									226
7～12歳	90	148	6	3									247
13～15歳	31	86	4										121
16～18歳	38	90	7	1									136
19歳～	976	2,063	115	13	4	3	4	2	2	4	2	21	3,209
未出生	1												1
総計	1,240	2,501	137	20	4	3	4	2	2	4	2	21	3,940

※平成23年3月11日～平成23年7月11日までの期間中、「いつ」「どこに」「どのくらいいたか」などをご記入し、そこから福島県立医科大学で外部被ばく線量を推計  
 ※データはH26.10.31時点で作成。  
 ※放射線業務従事経験者、非住人を含む  
 ※年齢は震災時の年齢



- 全年齢1mSv未満の方が3741名と大半を占めている
- 18歳以下で1mSv以上の方は29名
- 19歳以上で1mSv以上の方は170名